



令和3年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和3年2月10日

上場会社名 フクビ化学工業株式会社 上場取引所 東・名
コード番号 7871 URL <https://www.fukuvi.co.jp/>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)八木 誠一郎
問合せ先責任者 (役職名)取締役経営戦略本部長 (氏名)豊嶋 雅子 (TEL)0776(38)8071
四半期報告書提出予定日 令和3年2月12日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 令和3年3月期第3四半期の連結業績(令和2年4月1日~令和2年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
3年3月期第3四半期	26,555	△15.0	545	△42.4	966	△18.2	646	△18.8
2年3月期第3四半期	31,252	2.5	946	△31.2	1,181	△24.5	795	△26.3

(注) 包括利益 3年3月期第3四半期 933百万円 (20.0%) 2年3月期第3四半期 777百万円 (29.6%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
3年3月期第3四半期	31.72	—	—	—
2年3月期第3四半期	38.63	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
3年3月期第3四半期	百万円 45,941	百万円 31,325	% 66.9
2年3月期	47,132	30,682	63.9

(参考) 自己資本 3年3月期第3四半期 30,734百万円 2年3月期 30,105百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2年3月期	円 銭 —	円 銭 7.50	円 銭 —	円 銭 10.00	円 銭 17.50
3年3月期	—	5.00	—	—	—
3年3月期(予想)	—	—	—	10.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日公表の「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」も併せてご覧ください。

3. 3年3月期の連結業績予想(令和2年4月1日~令和3年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	35,700	△13.5	690	△40.9	1,160	△17.0	760	△19.6	37.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日公表の「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」も併せてご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社(社名) 、除外 社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

3年3月期3Q	20,688,425株	2年3月期	20,688,425株
3年3月期3Q	310,957株	2年3月期	363,957株
3年3月期3Q	20,359,801株	2年3月期3Q	20,577,097株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による厳しい状況が続きました。政府による大規模な経済対策もありましたが、個人消費などの回復ペースは緩やかとなりました。

海外では、経済活動の正常化に向けた動きが出始めていたものの欧米など各国の感染再拡大による影響は深刻で、先行きが見通せない状況です。

今後、感染対策を講じながら経済活動のレベルを段階的に引き上げていくなかで、景気も持ち直しに向かうことが期待されますが、国内の感染再拡大による緊急事態宣言発令や自粛要請の強化などで消費マインドが再度冷え込むことも予想され、当面注視が必要と思われま

す。住宅業界におきましては、一昨年の消費増税による住宅取得マインドの低下や感染拡大による雇用、所得環境の悪化により足元の需要は冷え込んでおり、令和2年4月～12月の新設住宅着工戸数は、戸数621千戸（前年比9.9%減）、床面積50,591千㎡（同11.6%減）となりました。

このような環境の下、当社グループでは、今期よりスタートしました第6次中期経営計画「FUKUVI NEXT」（2020年度～2022年度）に基づき、下記の3つの基本方針に則り具体的施策を実践しております。

・成長分野への積極展開

米国エリアでは新型コロナウイルスの感染拡大の影響による大きな落ち込みもありましたが、住宅着工件数の好転や高付加価値製品の開発受注、また生産性の改善に努め、引き続き回復基調にあります。また、ASEANエリアでの建材ビジネス確立に向けたマーケティング活動の強化を計画しており、移動制限緩和後に積極的に取り組んでまいります。

国内では成長分野と定めた非住宅・リフォーム分野やモビリティ・インフラ分野での新規開発や事業拡大を掲げており、緊急事態宣言下の移動自粛期間中でもWebを積極的に活用し、対象を広げたセミナーの開催、仕様決定権を持つ顧客へのオンラインでの直接提案に努め、営業品質の向上を目指しています。

・収益構造の改革推進による利益の創造

バリューチェーンを通じて顧客価値を最大化すべく原価低減に注力しているほか、成長分野へ経営資源を投入し、事業ポートフォリオの再構築に着手しています。また、IoTやAIの活用、多関節ロボット・5軸NC加工機の導入等により省人化、合理化を進め、受注競争力と生産性の向上に努めています。

・挑戦と変革を実現する経営基盤の確立

社員の挑戦を後押しする人材育成・人事制度、社内組織体制の強化を進めているほか、長期的な視点で将来に繋がる社会のニーズを満たす経営と事業展開を図り、社会的価値の創造による持続的な企業価値の向上に挑戦しています。

これらの活動により、売上の維持、利益の創出に一定の効果を上げているものの、コロナ禍による消費低迷や移動自粛等から、当第3四半期連結累計期間の売上高は26,555百万円と、前年同期に比べ15.0%の減収となりました。

利益面につきましては、Web会議システムの積極的活用等による旅費交通費やその他の支出を抑制するとともに、役員報酬の減額等の経費削減を実施し、加えて営業外収益では雇用調整助成金の受給もあり、営業利益545百万円（前年同期比42.4%減）、経常利益966百万円（同18.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益646百万円（同18.8%減）となりました。

事業別の売上状況は、以下のとおりであります。

(金額単位：百万円)

	分類	前第3四半期累計期間		当第3四半期累計期間		増減	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減比
建築資材	外装建材	4,162	13.3	3,550	13.4	△612	△14.7
	内装建材	9,713	31.1	8,670	32.7	△1,043	△10.7
	床関連材	6,284	20.1	5,551	20.9	△734	△11.7
	システム建材	3,133	10.0	2,572	9.7	△561	△17.9
	計	23,293	74.5	20,343	76.6	△2,950	△12.7
産業資材		7,959	25.5	6,212	23.4	△1,747	△21.9
合計		31,252	100.0	26,555	100.0	△4,697	△15.0

〔建築資材事業〕

主力の建築資材事業の売上は、20,343百万円（前年同期比12.7%減）で、売上高全体の76.6%を占めました。新型コロナウイルス感染症の影響により経済活動の範囲が限定的となったことから、販売面では苦戦を強いられました。

うち外装建材は、3,550百万円（同14.7%減）でした。外装装飾部材は善戦しましたが、換気部材、防水部材が伸び悩みました。

内装建材は、8,670百万円（同10.7%減）でした。浴室用パネルは善戦しましたが、断熱材・養生材が低調に推移しました。

床関連材は、5,551百万円（同11.7%減）でした。床タイルの売上は前年並みだったものの、乾式遮音二重床システム部材が伸び悩みました。

システム建材は、2,572百万円（同17.9%減）でした。リフォーム用システム建材は善戦しましたが、請負工事付きの木粉入り樹脂建材が東京オリンピック需要の反動減を受け落ち込みました。

〔産業資材事業〕

産業資材事業の売上は、6,212百万円（同21.9%減）で、売上高全体の23.4%を占めました。新型コロナウイルスの感染拡大による営業・開発活動が従来どおりにはできない状況が影響し、新規の受注が伸び悩みました。

車両関係では、国内の移動自粛や渡航制限によるインバウンド需要の低迷により観光バスの関係部材が大幅に減少しました。精密分野では、低反射コーティング技術を用いた車載アイテムの受注は回復傾向にあり、また、非車載アイテムは新たな市場の開拓を推進し好調に推移しました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,191百万円(前期末比2.5%)減少し、45,941百万円となりました。主な増減要因としましては、流動資産では、電子記録債権が902百万円増加した一方で、現金及び預金が1,332百万円減少、また受取手形及び売掛金が432百万円減少したことなどにより、1,186百万円(同3.7%)の減少となりました。固定資産では、有形固定資産が423百万円減少、また投資その他の資産が430百万円増加するなど、5百万円(同0.0%)の減少となりました。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べ1,833百万円(前期末比11.1%)減少し、14,616百万円となりました。主な増減要因としましては、流動負債では、短期借入金が増加した一方で、支払手形及び買掛金が1,912百万円減少、また賞与引当金が313百万円減少するなど、2,046百万円(同13.4%)の減少となりました。固定負債では、繰延税金負債が268百万円増加するなど、213百万円(同18.9%)の増加となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ643百万円(前期末比2.1%)増加し、31,325百万円となりました。その他有価証券評価差額金が308百万円増加、また利益剰余金が339百万円増加したことなどによるものです。この結果、株主資本合計は29,847百万円、自己資本は30,734百万円となり、自己資本比率は66.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における業績動向等を踏まえ、令和2年11月10日公表の連結業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日公表の「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和2年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和2年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,322	8,990
受取手形及び売掛金	13,110	12,679
電子記録債権	2,390	3,291
有価証券	20	10
商品及び製品	3,315	3,008
仕掛品	669	739
原材料及び貯蔵品	1,152	1,129
未収入金	1,108	1,042
その他	101	113
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	32,188	31,002
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,401	4,204
機械装置及び運搬具（純額）	2,464	2,271
工具、器具及び備品（純額）	254	218
土地	1,896	1,895
リース資産（純額）	520	483
建設仮勘定	102	142
有形固定資産合計	9,637	9,213
無形固定資産		
その他	209	198
投資その他の資産		
投資有価証券	2,687	3,122
長期前払費用	179	160
退職給付に係る資産	1,930	1,952
繰延税金資産	51	46
その他	250	248
投資その他の資産合計	5,098	5,528
固定資産合計	14,944	14,940
資産合計	47,132	45,941

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和2年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和2年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,143	10,231
短期借入金	319	459
未払金	267	163
未払法人税等	143	96
未払費用	1,245	1,187
賞与引当金	531	218
その他	677	926
流動負債合計	15,326	13,280
固定負債		
リース債務	482	442
長期未払金	317	302
繰延税金負債	273	541
退職給付に係る負債	52	51
固定負債合計	1,123	1,336
負債合計	16,450	14,616
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,194	2,194
資本剰余金	1,515	1,511
利益剰余金	25,978	26,318
自己株式	△206	△176
株主資本合計	29,481	29,847
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	552	860
為替換算調整勘定	31	8
退職給付に係る調整累計額	41	19
その他の包括利益累計額合計	624	887
非支配株主持分	577	591
純資産合計	30,682	31,325
負債純資産合計	47,132	45,941

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自令和2年4月1日 至令和2年12月31日)
売上高	31,252	26,555
売上原価	22,767	19,173
売上総利益	8,485	7,382
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	2,306	2,090
広告宣伝費	155	126
役員報酬	167	154
従業員給料	1,646	1,687
賞与引当金繰入額	442	340
減価償却費	310	296
賃借料	541	531
その他	1,973	1,612
販売費及び一般管理費合計	7,539	6,837
営業利益	946	545
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	108	103
為替差益	9	-
その他	138	383
営業外収益合計	256	486
営業外費用		
支払利息	7	2
為替差損	-	30
その他	13	34
営業外費用合計	20	66
経常利益	1,181	966
特別利益		
固定資産売却益	76	0
保険差益	-	1
特別利益合計	76	1
特別損失		
固定資産除却損	2	1
投資有価証券評価損	32	-
その他	0	0
特別損失合計	33	1
税金等調整前四半期純利益	1,223	966
法人税、住民税及び事業税	266	130
法人税等調整額	156	159
法人税等合計	421	290
四半期純利益	802	677
非支配株主に帰属する四半期純利益	7	31
親会社株主に帰属する四半期純利益	795	646

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自令和2年4月1日 至令和2年12月31日)
四半期純利益	802	677
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	43	308
為替換算調整勘定	△31	△30
退職給付に係る調整額	△36	△22
その他の包括利益合計	△25	256
四半期包括利益	777	933
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	776	906
非支配株主に係る四半期包括利益	1	27

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。